

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	議会事務局	事業No.	1
事務事業名		議員報酬	会計 一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	単年度
		開始	S37	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画				
	法令・例規等			地方自治法第203条及び飯田市議会の議員報酬に関する条例	
事業目的	対象	市議会議員			
	意図	市議会議員に対し、議員報酬を支給します。			

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)
	市議会議員に議員報酬等を支給しました。		議員報酬				113,706
	・ 議員報酬		議員手当等				38,456
	議長月額 499,000円(1人)		議員共済費				38,321
	副議長月額 436,000円(1人)						
	議員月額 407,000円(21人)						
	・ 議員手当等						
	報酬×加算率1.45×支給率3.25						
	・ 議員共済費						
	共済負担率 33.6/100(市議会議員共済会)						
事務費負担金 299,000円							
		その他の経費				0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	
	議員数	人数	23	23			
	定例会・臨時会開催	回数	5	8			
	本会議開催日数	日数	19	23			
3年度決算(千円)	予算額	198,164	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額	190,483					
	財源の状況	国庫支出金	0				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	190,483						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	1	1	1	1	1	198,164	190,483	議員人件費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識	令和2年度に議会運営委員会内において諸課題検討プロジェクトを立ち上げ、議員報酬は県内19市中、平均よりやや上位にあるものの、全国の人口規模類似市では平均的な水準であることを確認しています。								
上記の課題解決のための有効策	議員報酬の決定には、市民の理解と納得が得られるような理由付けが必要になります。地域の政策課題の解決にとって、議員と議会が不可欠の存在であることを説明できるように、市民と情報共有ができる場の確保と市民から意見を聴く仕組みを充実させる必要があります。								
次年度に向けての取り組み	令和4年度には、全議員で「地方議会評価モデル」に取り組み、議会活動が住民の福祉の向上に繋がっているか自己評価を行うこととなっています。この取組から議員の定数と議員報酬が適正であるかを再評価し、議会が地域経営にとって不可欠な存在であることを明らかにする機会とします。								